



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー
コード番号 2464 URL <http://www.bbt757.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大前 研一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 伊藤 泰史

TEL 03-5860-5543

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,386	5.9	164	12.9	150	34.0	86	33.3
25年3月期第2四半期	1,308	18.2	145	15.9	111	13.7	64	16.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 86百万円 (33.4%) 25年3月期第2四半期 64百万円 (16.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.53	7.43
25年3月期第2四半期	5.62	—

(注) 1. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 25年3月期第2四半期において、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
26年3月期第2四半期	3,903		3,026		77.5		264.25	
25年3月期	3,972		3,001		77.5		262.22	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,026百万円 25年3月期 3,000百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.50	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,851	5.4	350	13.5	350	2.0	205	0.5	17.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	12,669,800 株	25年3月期	12,669,800 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,218,200 株	25年3月期	1,226,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,451,600 株	25年3月期2Q	11,493,800 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 21「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策等を背景に、円高の是正や株価上昇の兆し、消費マインドも改善するなど景況感は改善傾向にあるものの、消費税率の引き上げや中国経済の減速、米国金融政策等の下振れ懸念などもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか「世界に通用する人材を育成」すべく実践的な教育プログラムと独自の遠隔教育システムの開発、充実に努めてまいりました。

文部科学省に設置認可されたビジネス・ブレイクスルー大学（以下、BBT大学）経営学部において、4年目となる春期学生が入学し、BBT大学大学院においても前期に引続き春期入学者数は堅調に推移いたしました。また、法人向け教育サービスにつきましては、第1四半期、第2四半期にわたり既存顧客企業において大型案件を受注するとともに、当社グループの遠隔教育サービスの理解・認知を図るべく人員を強化し、既存顧客企業への更なる深耕に継続して取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,386百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は164百万円（同12.9%増）、経常利益は150百万円（同34.0%増）、四半期純利益は86百万円（同33.3%増）となりました。

セグメント区分別の状況につきましては以下のとおりであります。

① マネジメント教育サービス

マネジメント教育サービスの売上高は1,193百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は134百万円（同0.5%増）となりました。BBT大学経営学部において4年目となる春期学生が入学し、BBT大学大学院においても前期に引続き春期入学者数は堅調に推移したこと、法人向け教育サービスにおいて既存顧客企業において大型案件を受注獲得したことによるものであります。

② 経営コンテンツメディアサービス

経営コンテンツメディアサービスの売上高は138百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は67百万円（同105.2%増）となりました。衛星レギュラー視聴の個人消費が落ち込んだものの、卒業生、修了生を対象に、受講したコンテンツの視聴延長や当社サービスを特別価格にて提供する有料会員サービスが順調に推移したこと、また衛星放送番組配信費用の削減によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が57百万円、売掛金が57百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円増加しました。これは主に有形固定資産が25百万円、無形固定資産が13百万円及び投資その他の資産が12百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は876百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。これは主に未払費用が51百万円、前受金が32百万円及び未払法人税等が12百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益86万円及び剰余金の配当62百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において概ね当初計画の範囲内で推移していることから、前回発表予想を据え置いておりますが、平成25年10月9日公表の「株式会社アオバインターナショナルエデュケーションシステムズの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」記載の同社連結子会社化（予定）により、現在、同社の財務諸表を継続して精査しております。そのため、当社連結業績に与える影響は、現在精査中であり、今後内容が明らかになった段階で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,369	1,713,946
売掛金	187,916	129,931
仕掛品	185,989	187,628
貯蔵品	7,037	6,300
前払費用	38,012	35,755
繰延税金資産	19,895	16,918
その他	22,932	22,605
貸倒引当金	△64	△46
流動資産合計	2,233,087	2,113,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	432,583	432,583
減価償却累計額	△58,860	△68,694
建物及び構築物(純額)	373,722	363,888
機械装置及び運搬具	9,730	9,730
減価償却累計額	△8,439	△8,637
機械装置及び運搬具(純額)	1,291	1,093
工具、器具及び備品	341,837	321,985
減価償却累計額	△205,977	△193,140
工具、器具及び備品(純額)	135,859	128,845
土地	831,802	831,802
建設仮勘定	16,650	58,920
有形固定資産合計	1,359,325	1,384,550
無形固定資産		
借地権	76,071	76,071
ソフトウェア	152,459	164,660
ソフトウェア仮勘定	13,513	16,099
その他	53,133	51,891
無形固定資産合計	295,178	308,723
投資その他の資産		
投資有価証券	23,217	24,939
差入保証金	50,167	48,967
繰延税金資産	9,089	9,953
その他	2,568	13,521
投資その他の資産合計	85,042	97,382
固定資産合計	1,739,546	1,790,655
資産合計	3,972,633	3,903,694

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,457	2,384
未払金	14,399	16,619
未払費用	222,133	170,587
未払法人税等	78,104	65,201
前受金	628,114	595,826
奨学還付引当金	1,800	3,150
その他	18,632	20,678
流動負債合計	968,641	874,446
固定負債		
その他	2,291	2,291
固定負債合計	2,291	2,291
負債合計	970,933	876,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,477,525	1,477,525
資本剰余金	1,125,236	1,125,291
利益剰余金	696,208	719,480
自己株式	△298,200	△296,254
株主資本合計	3,000,769	3,026,042
新株予約権	831	814
少数株主持分	100	99
純資産合計	3,001,700	3,026,956
負債純資産合計	3,972,633	3,903,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,308,324	1,386,043
売上原価	447,627	432,859
売上総利益	860,696	953,183
販売費及び一般管理費	714,893	788,609
営業利益	145,802	164,574
営業外収益		
受取利息	5,189	2,464
未払配当金除斥益	761	450
その他	620	742
営業外収益合計	6,572	3,657
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,000	1,228
為替差損	14,286	12,588
事務所移転費用	23,948	—
固定資産除却損	1,193	4,406
その他	—	8
営業外費用合計	40,429	18,230
経常利益	111,945	150,000
税金等調整前四半期純利益	111,945	150,000
法人税、住民税及び事業税	49,721	61,676
法人税等調整額	△2,428	2,112
法人税等合計	47,293	63,788
少数株主損益調整前四半期純利益	64,651	86,212
少数株主損失	0	0
四半期純利益	64,651	86,212

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	64,651	86,212
四半期包括利益	64,651	86,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,651	86,212
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	111,945	150,000
減価償却費	59,560	62,568
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35	△18
受取利息	△5,189	△2,464
未払配当金除斥益	△761	△450
投資有価証券評価損益(△は益)	1,000	1,228
固定資産除却損	1,193	4,406
売上債権の増減額(△は増加)	60,038	57,985
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,375	△902
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,133	△3,073
未払費用の増減額(△は減少)	△36,572	△50,915
前受金の増減額(△は減少)	55,113	△32,288
未払又は未取消費税等の増減額	△10,997	5,839
その他	41,620	7,816
小計	266,405	199,731
利息の受取額	4,751	2,328
法人税等の支払額	△91,766	△74,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,390	127,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,977	△58,182
無形固定資産の取得による支出	△26,959	△44,348
投資有価証券の取得による支出	△3,000	△2,950
敷金の差入による支出	△51,967	—
その他	△3,872	△8,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,776	△113,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	2,000
配当金の支払額	△56,311	△62,162
その他	831	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,480	△60,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,162	△11,733
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△88,029	△57,423
現金及び現金同等物の期首残高	1,635,785	1,771,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,547,756	1,713,946

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジメン ト教育サー ビス	経営コンテ ンツメディ アサービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,145,710	143,190	1,288,901	19,422	1,308,324	—	1,308,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,527	7,328	17,856	24,758	42,614	△42,614	—
計	1,156,238	150,518	1,306,757	44,181	1,350,938	△42,614	1,308,324
セグメント利益又は損 失(△)	133,988	32,724	166,712	△20,909	145,802	—	145,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入及び賃貸収益等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジメン ト教育サー ビス	経営コンテ ンツメディ アサービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,193,486	138,175	1,331,662	54,380	1,386,043	—	1,386,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,675	7,783	20,459	23,914	44,374	△44,374	—
計	1,206,162	145,959	1,352,122	78,295	1,430,418	△44,374	1,386,043
セグメント利益又は損 失(△)	134,683	67,147	201,830	△37,256	164,574	—	164,574

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入、賃貸収益及び新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。